

令和7年4月

旭市地域防災力向上計画

本計画は、自助・共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図るため、千葉県地域防災力充実・強化補助金を活用し、令和5年度から令和7年度において、自主防災組織の育成、活性化及び避難環境の整備に関する事業を次のとおり実施するものである。

1 自主防災組織の育成、活性化

(1) 新たな自主防災組織の育成

①現状及び課題

本市は、既存の区などの自治組織を単位とした自主防災組織の設立を促進しているが、令和4年度の自主防災組織の活動カバー率（全世帯数のうち、自主防災組織の活動範囲に含まれている地域の世帯数の割合）は約61%であり、全国平均の約84%と比べて低い値となっている。

現在、自主防災組織育成のため補助金を交付しており、資機材購入費用を助成するなどしているものの、初期費用の負担が設立の進まない要因と考えられた。

②基本方針

新たな自主防災組織の設立促進のため、既存の自治組織等に対し自主防災組織設立を促進する事業を実施し、また、自主防災組織に対し、活動に必要な資機材の購入に対して助成を行うことで、自主防災組織の設立を推進する。

③目標（令和7年度末まで）

既存自治組織を中心に自主防災組織の設立を目指し、自主防災組織の活動カバー率を向上させることにより、地域防災体制の強化を図る。

④具体的な取組

自主防災組織資機材等購入時に対する補助。

(2) 自主防災組織の活性化及び人材の育成

①現状及び課題

既存の自主防災組織において、役員の交代等により人材が不足し、活動が低迷している組織もあり、活性化及び人材の育成が課題となっている。

②基本方針

地域における活動の活性化を図るため、地域のリーダーを育成し、防災知識の普及

を図り、自主防災組織主催の防災訓練、防災に関する講習会及び研修等、防災リーダー等の人材育成として資格取得などの経費を助成する。

③目標（令和7年度末まで）

地域の実情にあった新たなリーダーの育成、訓練体制の充実により、防災意識の向上と継続的な活動による地域防災力の強化を図る。

④具体的な取組

- ア 防災訓練等の実施費用への助成
- イ 自主防災組織のリーダー育成に対する助成
- ウ 自主防災組織主催の講習会、研修会等への助成

2 避難環境の整備

（1）避難所環境の整備

① 現状及び課題

停電が発生した場合、非常用自家発電設備を有していない避難所では、夏場の熱中症対策が課題となっていることから、空調を稼働できる規模の非常用自家発電設備の整備が求められているが、整備には時間と費用を要することが見込まれる。

そのため、発電機等で稼働できる冷房器具の整備を進め、早急な対応を図る必要がある。

② 基本方針

停電対策として発電機や電気自動車等の活用を想定し、多くの避難者の滞在が想定される避難所から発電機等で稼働できる冷房器具の整備を進める。

③ 目標（令和7年度末まで）

各地区の拠点となっている4箇所の避難所に発電機等で稼働できる気化熱式冷風機や移動式エアコンの整備を進める。

④ 具体的な取組

- ア 気化熱式冷風機の整備
- イ 移動式エアコンの整備